

令和3年12月6日  
 令和3年度学校だより NO.35③  
 加古川市立平荘小学校

## 師走（しわす）です

12月、師走（しわす）とも言います。どうして、師走というのでしょうか。

『師走』の由来は、多くの説があります。

その一つに、『師馳（は）せ月』（しはせづき）で、昔はお正月にも先祖供養をしていたために師（お坊さん）が忙しく走り回っていたのが語源といわれています。

また、12月は1年の最後で今年のうちにやるべき事は、全部やり遂げる月という意味で『為果つ（しはつ）』が元になっているともいわれています。

定説というのではありませんが、12月が一年のよい締めくくりの月になってほしいと思います。

子どもたちにとって、学習面も生活面も来年（3学期）が気持ちよくスタートできるように、よいまとめの月にしたいです。

## 12月の生活目標

12月の生活目標は、『みんなで学校を美しくしよう』です。  
 12月13日（月）からは、『ぴかぴか週間』も始まります。  
 みんなで、学校を美しくしましょう。

平荘っ子のみなさん、どうして12月の生活目標が、『みんなで学校を美しくしよう』という目標になっているのでしょうか。

一年間の汚れをとり、美しい状態で新しい年を気持ちよく迎えられるようにという思いが込められています。手を抜かず、限られた時間いっぱいを使い、隅々まできれいにしましょう。

『ぴかぴか週間』のチェックカードには、計画的に掃除が進められるようがんばるところが示されています。

### 生活目標

美しくしよう

十二月

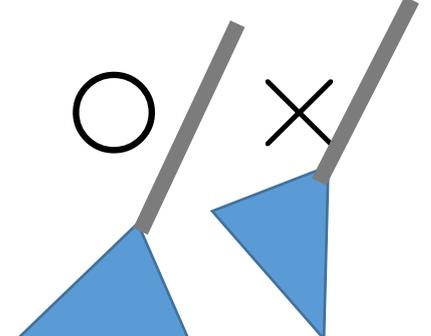
みんなで

学校を

美しくしよう



平荘っ子のみなさん、ほうきの正しい使い方を知っていますか？



ゆ か

左の使い方をしましょう。ほうきの穂先全部が床につくようにしてはきましょう。



2学期のよこれをきれいにし、気持ちよく新年をむかえよう。

★子どもの手の届かないところや危険なところは、先生がしてください。 年 組

13日（月）		14日（火）		15日（水）		16日（木）		17日（金）	
がんばるところ	チェック	がんばるところ	チェック	がんばるところ	チェック	がんばるところ	チェック	がんばるところ	チェック
床やかべの汚れ		教室・ろうかの窓ガラス・さん		教室・ろうかの窓ガラス・さん		教室・ろうかのすみの汚れ		教室・ろうかの水ぶき	
教室のたなの上・中		くつ箱の水ぶき		おきがさ立てかさ立て		学習机・いすの汚れ		トイレの水洗い・水ぶき	
学習机・いすの汚れ		黒板の上		本だなの整理		手洗い場と（排水こうの奥）		そうじ用具入れ（トイレも）	
給食台・台ふき		チョークの引き出し		ドアみがき・みぞ		ごみの片付け		（ゴミ箱洗い）	
そうじ場所の落ち葉・ごみひろい・壁引き		学年花だん周りの壁引き		みぞそうじ		そうじ場所の落ち葉・ごみひろい・壁引き		そうじ場所の落ち葉・ごみひろい・壁引き	
先生のチェック		先生のチェック		先生のチェック		先生のチェック		先生のチェック	

## ＜正月事始め＞

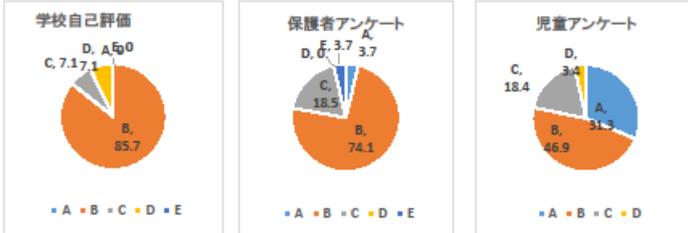
12月13日は、『正月事始め』ともいわれ、お正月を迎える準備を始める日です。すすはらいもお正月を迎える準備の一つで、一般的には「大掃除」として一年間のほこりや汚れを取り除ききれいにするという目的と今年一年の様々な厄を払い落とすことも目的とされています。もともとは、この日に大掃除をしていましたが、大正時代以降、徐々に歳末に行われるようになりました。

# 「学校教育目標の実施に関する中間アンケート」結果より

9月17日～10月8日に、保護者を対象に、「学校教育目標の実施に関する中間アンケート」を実施いたしました。また、同時期に、教職員や児童にも中間アンケートを実施しました。その中の「基礎基本をしっかりと身につけさせます」について報告いたします。

## 令和3年度 学校評価(中間アンケート)結果について 1 「基礎基本をしっかりと身につけさせます」について

### ① 筋道を立てて考える力をつけます

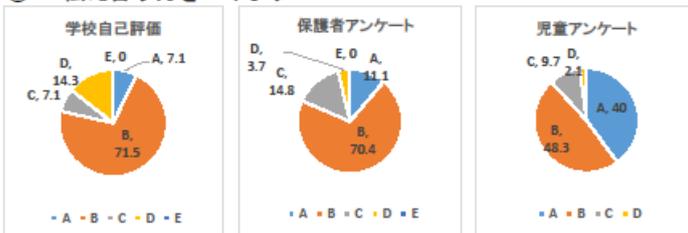


A・B…85.8  
C・D…14.2

A・B…77.8  
C・D…22.2

A・B…78.2  
C・D…21.8

### ② 伝え合う力をつけます

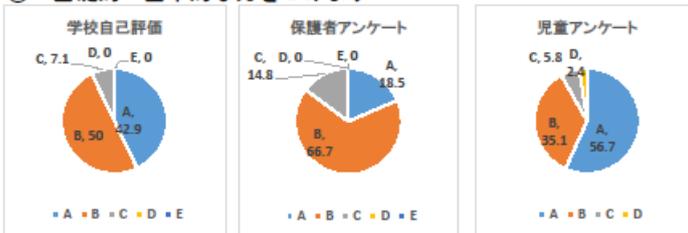


A・B…78.6  
C・D…21.4

A・B…81.5  
C・D…18.5

A・B…88.2  
C・D…11.8

### ③ 基礎的・基本的な力をつけます

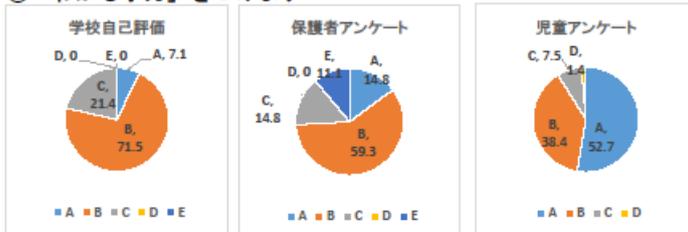


A・B…92.9  
C・D…7.1

A・B…85.2  
C・D…14.8

A・B…91.8  
C・D…8.2

### ④ 「わかる学力」をつけます



A・B…78.6  
C・D…21.4

A・B…74.1  
C・D…14.8 E…11.1

A・B…91.1  
C・D…8.9

- A・・・よくできている
- B・・・どちらかといえばできている
- C・・・どちらかといえばできていない
- D・・・できていない
- E・・・わからない

中間アンケート結果より、同じ項目について、教職員、保護者、児童の感じている目標達成に向けた評価を比較いたしました。

アンケート結果をもとに、下半期の児童への関わりや教育活動について、教職員で話し合いました。

子どもたちに、「伝え合う力」をさらにつけるために、話型を示し、理由付けや説明の順序を意識させながら伝える力をさらに付けていけるように支援していきます。同時に、「聞き方あいうえお」を示し、聞くことを意識させながら、聞き手を育てていきます。聞き手を育てることで、互いに伝え合えるようにし、「伝え合う力」を育てていきます。

「わかる学力」をつける手立てとして、本市では、東京大学大学院の藤村宣之教授の提唱されている『協同的探究学習』の推進に努めています。授業の中で、子どもたちに多様な答えが出る発問を投げかけ、子どもたちがいろいろと思考し、それをクラス全体で意見交流しながら考えを深めていくように授業を展開しています。大切なことは、子どもたち一人一人が、自分の考えや意見を持って学習に参加することです。そして、自分の考えと友達の考えとを比較し、共通点・類似点や相違点を見つけながら、より自分の考えを深めていけるようにしています。

今後とも、「わかる学力」の伸長をめざし、協同的探究学習を一層推進していきます。



※保護者の皆様、中間アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。